



知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



世界一短い手紙を書いたのは？

世界一短い手紙を書いたのはフランスの作家、ヴィクトル・ユーゴー(1802~1885 年)だ。ユーゴーは 1862 年に出版した小説「レ・ミゼラブル」の売れ行きが気になり、海外旅行中に出版社宛てに手紙を書いた。その時の文面が用紙の真ん中に「？」だけだった。彼はこの一字で、「本の売れ行きはどうだい？」という気持ちを表したのである。

すると、間もなく出版社から返事が届いたが、それもたったの一字で「！」だった。これはつまり「すごい人気だ！おめでとう！」というわけ。何ともユニークでユーモアのある手紙のやり取りだ。

なお、日本一短い手紙は、徳川家康の家臣、本多作左衛門が陣中から妻に宛てて送った「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」と言われている。

東京ドーム何個分

1988 年に「東京ドーム」が開業して 31 年が経過した。東京ドームが完成して使われるようになったのが「東京ドーム何個分」という表現。しかし、「東京ドーム 10 個分の規模(容積)」と言われてもどの程度の大きさなのか、よく分からない。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

東京ドームの容積は 124 万立方メートルある(東京ドームホームページ Q&A より)。そう言われても、まだよく分からない。計算してみると、一辺が約 107.5m の正立方体に換算できる。であれば何となく想像できるというものだ。

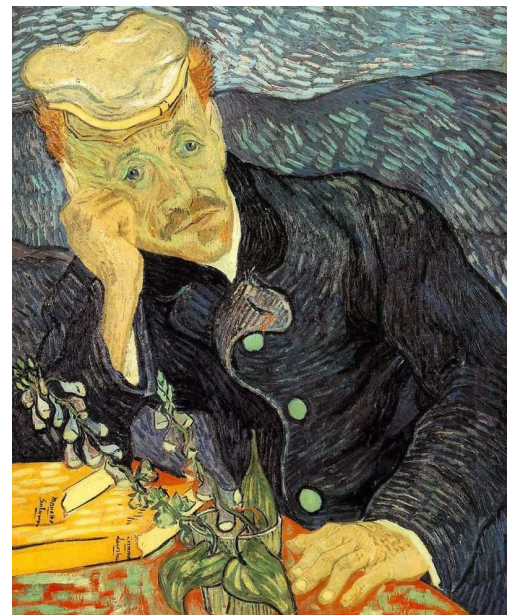
(個人的には)規模やスケールを表現する場合は「東京ドーム」のかわりに「一辺が 100m の立方体で何個分」とした方が分かりやすいと思うのだが・・・。

ゴッホの絵は生前何枚売れたのか？

今では抜群の人気を誇るオランダ(大半はフランスで過ごしている)の画家・フィンセント・ファン・ゴッホ(1890年、37歳で没)。彼が画業に打ち込んだのは約20年、その間約2000もの作品を残しているが、生前に売れたのは「赤い葡萄畑」の1枚だけだった。しかし、彼の死後、回顧展や伝記の出版などで知名度が上がり、彼の作品は急速に見直された。彼の作品で最も落札額が高かったのは「医師ガシエの肖像」で8250万ドル(ガシエはゴッホの診察をしていた精神科医)。

なお、ゴッホの作品では「ひまわり」が有名だが、その落札額は3950万だった。

・写真は「医師ガシエの肖像」(Wikipedia より)



血液型の「O型」は勘違いから誕生？

血液型は 1900 年オーストリアの医学者カール・ラントシュタイナーによって発見された。彼は血清の凝集反応によって3種類の血液型を発見して、A・B・C 型の3つに分類した(4つ目の AB 型は 1902 年別の医学者が発見している)。

ただ、C 型は「A と B のいずれの抗原物質を持たない」という 0(ゼロ)という意味で「O(ゼロ)型」と名前を変えた。これらの血液型は文書となって印刷されることになったが、いつの間にか O 型の「O(ゼロ)」が英字の「O(オー)」に間違われるようになり、その間違った「O(オー)」の方が普及してしまったのである。

そして、1927 年国際連盟の専門委員会において、血液型は A・B・O・AB 型を用いる旨が正式に決定したのである。なお、ラントシュタイナーは血液型の発見により、1930 年ノーベル生理学・医学賞を受賞している。



月見草と富士山(の標高)

「三七七八米の富士の山と、立派に相對峙し、みじんもゆるがず、なんと言うのか、金剛力草とでも言いたいくらい、けなげにすつくと立っていたあの月見草は、よかった。富士には、月見草がよく似合ふ」(太宰治「富嶽百景より」)。

太宰が短編小説「富嶽百景」を執筆したのが昭和14年だが、富士山の標高が正式に測量されたのは明治18年で3778mとされた。現在の3776m(正式には3775.63m)となったのは大正



15年の測量からで、太宰は明治に測量された標高を使用している。なお、江戸時代にもいくつかの測量結果が発表されており、伊能忠敬は1803年に3927.7mと測量している。

(蛇足ながら)神奈川県大和市にある地名「つきみ野」は、開発以前に月見草が生い茂っていたことに由来している。